

# 全国自死遺族フォーラム 2011

*National Forum for Survivors of Suicide*

## 「広がる自助グループ」 & 「遺族への差別撤廃」

司会 寺島 英弥 (河北新報社 編集委員)

第一部 (午後 13 時) 基調講演 おか ともふみ 岡 知史 (上智大学教授)

\*自助グループの研究者として\*

「自死遺族『本人の会』: その特徴とボランティアの会との比較」

第二部 (午後 14 時 15 分) 遺族の声

父を亡くした遺族; 母を亡くした遺族; 両親を亡くした遺族

第三部 (午後 15 時半) 会場とのディスカッション

自死への差別撤廃について

日時 9月11日(日) 午後13~16時半

会場 江戸川区総合文化センター

住所 東京都江戸川区中央4-14-1 (地図は裏面)

電話 03-3652-1111

JR 新小岩駅南口より徒歩 15 分

**入場無料**

パネル展示開催 同会場にて  
9月9~11日 午前10時~午後6時  
(最終日は、午後3時まで)

問い合わせ先: 全国自死遺族連絡会  
田中幸子 (TEL/FAX 022-717-5066)

「私の中で今、生きているあなた」

\*働く者のメンタルヘルス相談室\*

TEL 06-6242-8596

ともふみ  
岡 知史 (上智大学総合人間科学部社会福祉学科教授)

## 「自死遺族『本人の会』：その特徴とボランティアの会との比較」

(お話しする内容)

自死遺族の「本人の会」(自助グループ)をどう進めて行くべきかは、自死遺族本人が実践を通して考え、つくりあげていくことであって、当事者ではない第三者が「教え」たり、「伝え」たりするものではないと思います。死生観が異なる文化のなかで発展してきたグリーフケアや、異なる状況のなかで発展してきた他の「本人の会」(自助グループ)のありかたにとらわれることなく、先駆的な日本の自死遺族「本人の会」の事例(成功例、失敗例を含めて)を積み重ねてこそ、自死遺族「本人の会」のありかた、進め方が見えてくるのではないでしょう。

この講演では、論者が自死遺族「本人の会」のみなさんから聞いた会の様子、特にボランティアによる会と比較してどういふところが特徴だと考えているかを聞き、論者自身がこれまで長年、他の「本人の会」とのかかわりで学んできたことを参考に、まとめたこととお話します。

(略歴)

1958年兵庫県姫路市生まれ。主著「セルフヘルプグループ」～わかちあい・ひとりだち・ときはなち～星和書店刊 エッセイ集「知らされない愛について」「ほんのすこしの神に近い部分」大阪ボランティア協会出版部刊

会場へのアクセス

